

「住民同士の支えあい」で地域の課題を解決!!

～ 各地区に地域運営委員会（仮称）を設立します ～

取り組みの背景

少子・高齢化の進展
人口減少

市民ニーズの
多様化・高度化・複雑化

税収減少・社会保障費増
(収入は減るが、支出は増える)

行政だけでは解決しづらい
課題が増加

「行政ができること」と「地域ができること」を役割分担

- 行政主体で取り組む分野 → 市全域にわたる「公平・画一的」な対応が必要な課題
- 地域主体で取り組む分野 → 地域毎の状況に応じた「個別・柔軟」な対応が必要な課題

地域の住民同士の助けあい、支えあいにより
課題を解決できることが重要

しかし、地域の状況は・・・

- 担い手不足により、各団体の組織力が低下している地区もある
- 課題解決力の地域間格差の発生

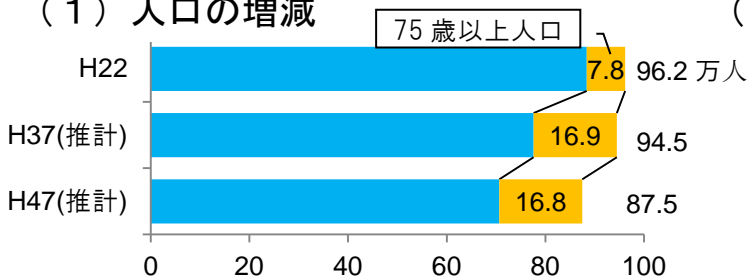
すぐに準備
しないと
手遅れに？

そこで

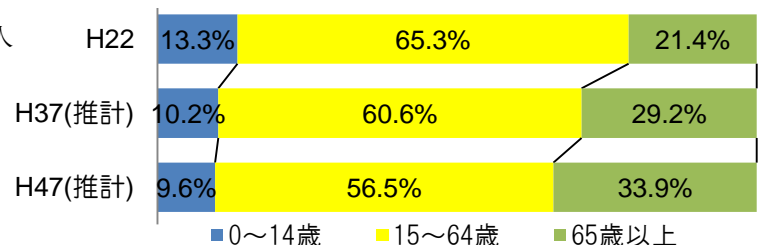
地域のコミュニティを良好なものとし、地域で助けあい・支えあえる
仕組みづくりを、今のうちから段階的に進める必要があります。

(参考) 千葉市の人口の推移

(1) 人口の増減



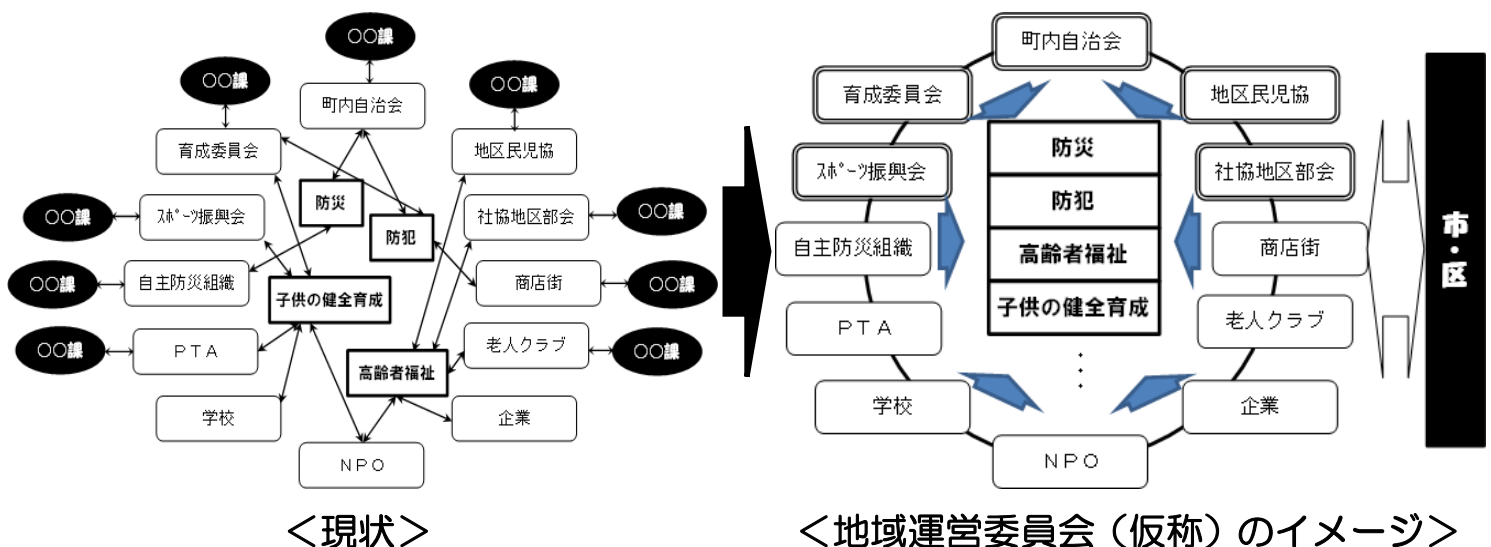
(2) 年齢区分別人口の割合



取り組みの概要

地域運営委員会（仮称）は、地域で活動するいろいろな団体が、連携・協力し合い、いつまでも「住民同士のささえあい」を続けられるようにするための仕組みです。

- ☆ 小学校区から中学校区の広さの地区毎に、その地区で活動するいろいろな団体が参加して委員会を構成します。
- ☆ 地域の課題を調べ、みんなで共有するとともに、課題を解決するために、「誰が」「何を」「どのように」行うかを決めます。
- ☆ 地域が目指す将来の姿をみんなで考え、実現のための計画を立てます。
- ☆ 課題解決に必要な「担い手」「お金」「情報」などの地域資源を、地域全体で活用できるよう、調整します。
- ☆ 市は、委員会を通じた地域全体での課題解決を支援するため、補助金の使い勝手を良くしたり、担当する職員を配置したりします。



地域のメリット

メリット1：地域のことを地域で決められるようになります

住民ニーズや地域課題に応じた柔軟な事業実施が可能に

メリット2：地域の資源を活用して、事業実施できるようになります。

団体間の連携・協働が進むことで、人材・資金・ノウハウ等の地域全体での有効活用が可能に

メリット3：個々の団体の負担が軽減されます

団体間で役割分担を明確にし、類似事業を協力して実施することで負担軽減が可能に